

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	住み慣れたホームで最期を迎えて欲しいというご家族様が多く、看取りケアを行う機会が増えている。より良い最期を迎えられるよう支援したい。	ご本人様・ご家族様・職員がこの施設で最期まで過ごせてよかった、過ごしていただけてよかったと思える支援を行います。	①スタッフは入居者様がお元気な時から、普段の何気ない会話の中でご本人様の意向を聞き取り、個人記録のACP欄に記入する。 ②ご本人様・ご家族様に入所時だけでなく看取りの段階になる前にも延命治療等の意向を確認し、主治医との連携を密にとり最期までご本人様・ご家族様の意向に沿えるようにする。	12ヶ月
2	49	コロナ禍より感染予防の為、外出支援が少なくなっているため、コロナ禍以前のように重度の方も外出する機会が増えるよう支援したい。	入居者様の体調に考慮しながら、週1回を目安に外出していただけるよう支援を行います。	①近隣の散歩へ、お一人ずつ出掛けられるよう外出担当スタッフを作り支援する。	12ヶ月
3	13	より良いサービスを目指し、認知症ケアに関する知識、介護技術等について職員ひとりひとりの専門性を高めたい。	外部研修やあじさいグループ内で行われている研修に職員全員が参加し、専門知識・技術を身につけ実践することが出来る。	①スタッフ一人ひとりの力量、ケアの状況に合った研修が受けられるよう勤務配置を配慮し、スタッフが研修に参加しやすい環境をつくる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。